

令和5年度 本牧和田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
令和4年3月時点での人口は約22,000人となっており、うち高齢者(65歳以上)人口は5,200人を超えています。高齢化率は23.9%と中区全体(23.7%)を僅かに上回っています。一方、年少人口(~14歳)は12.6%で中区全体(10.0%)に比べ高く、集合住宅の開発等により新たなコミュニティが形成され、若い世代の住民層が増えたことが要因と考えられます。高齢化の進展と同時に将来を担う子ども世代の増加も予測され、こうした地域コミュニティの変化に対し、高齢者、子育て、障害者支援等、課題解決に向け、あらゆる切り口から柔軟な取り組みが必要であると考えます。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【相談・支援】 地域の身近な相談窓口であることを地域に出向き発信します。発信にあたってはSNSなども活用していきます。対象を問わず相談対応を行い、関係機関にスムーズにつなげます。基幹相談などと密に連携を行い、相談に対応していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【社会資源の開拓・開発・支援】 感染対策を講じて、地域ケア会議開催します。地域サロンへ積極的に参加し、情報収集を行います。福祉関係のネットワークに捉われず、幅広い視点でネットワークを広げます。広報紙、SNSを活用して事業の情報発信を行い、支援者を広げていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【地域ケアプラザの場を生かした支援】 5職種共催事業「Wa! サロンDa」にて、国際交流ラウンジと連携し、外国の文化に触れる機会を設けます。住民の得意分野を生かした取り組みに対して、作品展等を企画し、活動の発展を支援します。障害施設の紹介や作品も展示することで、障害理解の場としても活用します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【認知症支援事業】 子育て世代などへの事業での普及啓発、広報紙、SNSなどを活用した発信を行っていきます。認知症サポーター養成講座などを地域に出向く形でも普及啓発(講座開催等)を行います。介護者のつどいを定期的を開催することにより、介護者の介護負担軽減を図れる場としていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【在宅医療・介護連携推進事業】 個別ケース相談を通じて在宅医療について情報提供を行います。在宅医療連携拠点と連携を図り、情報共有、発信を行います。介護予防事業の際にACP(人生会議)や「もしも手帳」について紹介し、意識を高めていきます。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		

令和5年度本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。 ・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に事故防止・個人情報保護に関する研修を行います。 ・業務マニュアルの定期的な見直しを行い、再発防止に取り組みます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が介護予防についての目的や目標を理解し、その目標達成のために必要なサービスや手段を活用して、目標達成に取り組めるような計画を作成し実行することができる。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できる。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)1名、 社会福祉士1名、 看護師1名	主任介護支援専門員(管理者兼務)1名 主任介護支援専門員1名 介護支援専門員1名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
利用料金	【その他料金】 食事代 780円(おやつ代100円含む)	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者1名・生活相談員3名 介護職員21名(相談員兼務・運転手兼務含む) 看護師兼機能訓練指導員4名		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,262,329		19,262,329		19,262,329	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	37,600		37,600		37,600	
横浜市による運営支援	1,065,000		1,065,000		1,065,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	9,000	0	9,000	0	9,000	
印刷代	9,000		9,000		9,000	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	△ 3,764,966		△ 3,764,966		△ 3,764,966	
収入合計	16,608,963	0	16,608,963	0	16,608,963	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,904,000	0	9,904,000	0	9,904,000	
本俸	7,914,000		7,914,000		7,914,000	
社会保険料	996,000		996,000		996,000	
手当計	808,000		808,000		808,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	126,000		126,000		126,000	
その他	18,000		18,000		18,000	
事務費	580,000	0	580,000	0	580,000	
旅費	0		0		0	
消耗品費	167,000		167,000		167,000	
会議賄い費	11,000		11,000		11,000	
印刷製本費	13,000		13,000		13,000	
通信費	182,000		182,000		182,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	7,000		7,000		7,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	200,000		200,000		200,000	
事業費	433,000	0	433,000	0	433,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	433,000		433,000		433,000	
その他	0		0		0	
管理費	4,273,000	0	4,273,000	0	4,273,000	
光熱水費	3,358,000		3,358,000		3,358,000	
清掃費	206,000		206,000		206,000	
機械警備費	88,000		88,000		88,000	
設備保全費	483,000	0	483,000	0	483,000	
空調衛生設備保守	58,000		58,000		58,000	
消防設備保守	56,000		56,000		56,000	
電気設備保守	139,000		139,000		139,000	
害虫駆除清掃保守	55,000		55,000		55,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	175,000		175,000		175,000	
共益費	138,000		138,000		138,000	
その他	0		0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	944,963		944,963		944,963	デイサービスへ繰り入れ
支出合計	16,608,963	0	16,608,963	0	16,608,963	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	37,600	0	37,600	0	37,600	
自主事業費 支出	433,000	0	433,000	0	433,000	
自主事業 収支	△ 395,400	0	△ 395,400	0	△ 395,400	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,917,964		24,917,964		24,917,964	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,846,090		5,846,090		5,846,090	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		△ 1,044,000		△ 1,044,000	
横浜市による運営支援	283,000		30,157,054		30,157,054	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	0	0	0	0	
J	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	△ 1,044,000		△ 1,044,000		△ 1,044,000	
収入合計	30,157,054	0	30,157,054	0	30,157,054	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,032,000	0	26,032,000	0	26,032,000	
本俸	19,911,000		19,911,000		19,911,000	
社会保険料	3,578,000		3,578,000		3,578,000	
手当計	2,037,000		2,037,000		2,037,000	
健康診断費	61,000		61,000		61,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	432,000		432,000		432,000	
その他	13,000		13,000		13,000	
事務費	797,000	0	797,000	0	797,000	
旅費 584,000+422,000→1,006,000	0		0		0	
消耗品費	136,000		136,000		136,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	8,000		8,000		8,000	
通信費	237,000		237,000		237,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	17,000		17,000		17,000	
職員等研修費	35,000		35,000		35,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	264,000		264,000		264,000	
事業費	828,000	0	828,000	0	828,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	43,000		43,000		43,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	128,000		128,000		128,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	27,000		27,000		27,000	
その他	0		0		0	
管理費	1,145,000	0	1,145,000	0	1,145,000	
光熱水費 1,456,000	893,000		893,000		893,000	
清掃費	55,000		55,000		55,000	
機械警備費	23,000		23,000		23,000	
設備保全費	137,000	0	137,000	0	137,000	
空調衛生設備保守	16,000		16,000		16,000	
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	
電気設備保守	37,000		37,000		37,000	
害虫駆除清掃保守	15,000		15,000		15,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	54,000		54,000		54,000	
共益費	37,000		37,000		37,000	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	1,229,054		1,229,054		1,229,054	デイサービスへ繰り入れ
支出合計	30,157,054	0	30,157,054	0	30,157,054	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	198,000	0	198,000	0	198,000	
自主事業 収支	△ 198,000	0	△ 198,000	0	△ 198,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:本牧和田地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,214		3,214	4,091		4,091	19,903		19,903	67,326		67,326	2,705		2,705
	その他	0	0	0	0	0	0	238	0	238	21,102	0	21,102	788	0	788
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	13,120		13,120	788		788
	受託収入	0		0	0		0	238		238	0		0	0		0
	施設使用料相当額	0		0	0		0	0		0	3,588		3,588	0		0
	利用者等外給食費収入	0		0	0		0	0		0	230		230	0		0
	指定管理より繰入金	0		0	0		0	0		0	2,174		2,174	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	1,990		1,990	0		0
	収入合計(A)	3,214	0	3,214	4,091	0	4,091	20,141	0	20,141	88,428	0	88,428	3,493	0	3,493
	支出	人件費	0		0			0	19,181		19,181	54,829		54,829		
事務費		0		0			0	525		525	6,493		6,493			0
事業費		0		0			0	0		0	5,599		5,599			0
管理費		0		0			0	245		245	12,339		12,339			0
その他		2,922	0	2,922	3,799	0	3,799	120	0	120	10,072	0	10,072	0	0	0
利用者負担軽減額		0		0	0		0	0		0	0		0			0
消費税		0		0	0		0	0		0	2,000		2,000			0
介護予防プラン委託料		2,922		2,922	3,799		3,799	0		0	0		0			0
利用者等外給食費支出		0		0	0		0	0		0	230		230			0
固定資産(電動自転車)		0		0	0		0	120		120	0		0			0
拠点区分間長期借入金返済		0		0	0		0	0		0	3,000		3,000			0
拠点区分間繰入金支出		0		0	0		0	0		0	1,254		1,254			0
施設使用料相当額		0		0	0		0	0		0	3,588		3,588			0
その他	0		0	0		0	0		0	0		0			0	
支出合計(B)	2,922	0	2,922	3,799	0	3,799	20,071	0	20,071	89,332	0	89,332	0	0	0	
収支 (A)-(B)	292	0	292	292	0	292	70	0	70	-904	0	-904	3,493	0	3,493	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症予防 学習・交流サロン「なごみ」	H22	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	音読、計算等を行う学習時間と参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	1：高齢者	5：地域	音読・計算等を行う学習プログラム ・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流・情報交換 ・健康な生活を送るための情報提供		
2	子育てサロン	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	4：子ども・青少年	3：養育者及び乳幼児	子育て中の親子で集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携して運営する。 通年：毎月第3木曜日		
3	Wa！サロンDa	R3	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	子どもから高齢者まで世代関係なく、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動を支援する。	5：地域	6：事業者	5職種共催で行う、「誰もが立ち寄れるサロン」として開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、講話等を行うこともある。 通年：毎月第3水曜日 13:30から15:00		
4	「ほんもくセラセラ」と楽しく歌いましょう！	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	音楽や運動を通じた身体の活性化や仲間づくりを目的としている。	5：地域		唱歌や懐メロをみんなで歌ったり、脳トレと運動を組み合わせた「コグニサイズ」を行う		
5	味噌づくり講座	R3	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	味噌づくり体験を通じた参加者同士の地域交流や、食の学びを目的とする。	5：地域		講師の指導のもと味噌づくり体験を行う		
6	UVレジンのキーホルダーづくり	R4	2：地域活動交流事業	2：優先的に取り組み	夏休みの時期に小学生を対象に、イベントを実施し、学齢期の子ども達にケアプラザに足を運んでもらう。	4：子ども・青少年	3：養育者及び乳幼児	UVレジンを使用し、キーホルダーづくりを行う		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	料理教室 (キッズ防災ランチ)	R4	3:地域活動交流事業	3:優先的に取り組み	防災食をテーマに、災害時でも活用できる調理法や栄養について学ぶ。 男性対象、小学生対象など、対象に応じた調理を検討していく。	7:地域		①栄養に関する講話 ②防災食を作る 10月は、小学生向けの「キッズ防災ランチ」		
8	ボランティア活動支援	H20	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域でボランティア活動をする人、また活動したい人を支援する。また受け入れ団体と結び付けることで、地域づくりに繋げる	5:地域		新規ボランティアの募集と登録。受入希望団体等のリスト作成。受入先とのコーディネート		
9	本牧中学校 「ボランティアの会」 活動支援	H23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生がボランティア活動を通じて、地域で誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ機会作り。また自分たちが出来ることを実践する機会を提供する。	4:子ども・青少年		本牧中学校ボランティアの会への参加ボランティア活動への参加の呼びかけボランティア活動の場の調整と提供。活動時の支援等。		
10	中学校・高等学校 実習受け入れ (福祉体験学習) (職業体験学習)	H21	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉施設での職業体験を通して、誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを知る。自身で支援出来ることを見つけて実践しようとする気持ちを育てる。福祉施設を利用しようとする人の思いや願を理解する。	4:子ども・青少年		施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。 車椅子体験やデイサービスでの話し相手等の福祉体験学習を実施する。		
11	世代間交流会	H18	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	世代を越えた交流を通じ、地域で支え合い、挨拶や見守り等をし合える関係が構築できる。	1:高齢者	4:子ども・青少年	①本牧中学校ボランティアの会と間門荒井の老人会(間門さくら会)との交流会(合唱発表やレクリエーション)を実施。 ②小学校の放課後居場所事業「放課後キッズクラブ」と連携し児童と高齢者等、異世代が関わることができる場を実施する		
12	・本牧・根岸地区社協 一人暮らし高齢者食事会 ・本牧三之谷茶話会 ・元町南部食事会 ・大里カフェ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方との顔の見える関係づくり。また、地域の方との連携強化推進。合わせてケアプラザ事業や地域包括支援センターの周知	1:高齢者	5:地域	地域の活動や行事へ参加すること等を通して福祉・保健等の情報提供や周知を行う。また個別相談等へ繋がる機会を提供する。		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	広報誌「本牧和田地域ケアプラザ通信」ホームページ	H18	7: 共催 (1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進につながることを目的としている。	5: 地域		地域の活動や健康づくり、仲間づくり等の情報、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動を掲載する。自主事業の予定をカレンダー形式で情報提供する。町内会自治会への配布、圏域内の小中学校や障害者福祉施設、介護保険事業所等への配布をしている。		
14	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧いきいき講座」	H18	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。フレイル予防に関する講座。年間を通して実施し、地域の高齢者が気軽に通える介護予防の場を目指す。	1: 高齢者	5: 地域	本牧和田CPを会場とし、年間13回(フレイル予防、ロコモ予防、口腔機能向上、栄養改善、認知症予防)第3火曜 13:30~15:00		
15	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧太極拳ストレッチ(仮)」	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。フレイル予防に関する講座。連続3回講座。高齢者にも無理なくできるゆっくりとした動きでストレッチを行い、ロコモ予防につなげる。特定の項目を設けることで、興味の合う参加者同士が集まり、交流が活発になることを目指す。	1: 高齢者	5: 地域	本牧和田CPを会場とする。3回講座。太極拳ストレッチが行える講師に依頼。3回とも参加できる参加者を募集する。上半期に実施予定。		
16	GoGo健康！ 介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧いきいき出張講座(仮)」	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	活動が再開した地域の会館で実施し、CPまで来所できない方にも参加してもらえる介護予防講座とする。地域活動の活発化を目指す。	1: 高齢者	5: 地域	地域の活動が再開してきていると予測される下半期に実施。3回講座。ヨガや太極拳などゆったりとした、高齢者でも参加しやすい体操講座を実施予定。		
17	グリーンサロン	R4	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	エリアの高齢者住宅で実施。住民の交流、相談窓口、介護予防を目的とする。今後は住宅住民だけでなく、近隣住民にも対象者を広げていくことを目指す。	1: 高齢者	5: 地域	奇数月の第4木曜に実施。内容に関しては、住宅住民から毎回要望を受付けている。介護保険や在宅医療に関する講座や、介護予防体操の講座など多岐にわたる。		
18	介護者のつどい「カフェはれやか」	H26	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者の介護者を対象に、日ごろの介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者同士で交流することで、在宅介護の継続、一人で抱え込まない介護を目指す。	1: 高齢者	5: 地域	偶数月の第4金曜に実施。介護者が在宅介護についての悩み等を話し合い、情報交換を行う。介護者が精神的にリラックスできるような講座の実施を予定。		

■ 事業 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3) 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1 : 優先的に取り組みが求められる事業 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者 7 : その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	認知症サポーター養成講座	H25	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた地域で安心してその人らしく生活するために、地域住民等に向けて認知症の正しい知識と対応方法等を理解してもらう。	5:地域	6:事業者	①地域のキャラバンメイトと協力し養成講座を実施。②地域の団体等や小中学校に向けて、講座開催の案内をする。③サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供。		
20	地域ケア会議	H26	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で安心してその人らしく生活することができるような仕組みを作るため、地域ネットワークの構築強化。	1:高齢者	5:地域	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2回程度)②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する。(年1回程度)		